



『おててがでたよ』

林明子 さく

福音館書店

服を一人で着ようとがんばる赤ちゃん。大人は、かわいいなと思いますが、聞き手の子供は真剣です。赤ちゃんの手や足がちゃんと出てくるか息をのんで見つめます。「ばあー」と顔が出たり、「すぽん」と足が出てくると大喜びします。

2、3歳になると、自分で服を着たがったり、大人が着せようとするとき怒ったりします。そんな成長の一こまを親子で分かち合える絵本です。

➔ 服を自分で着るお話

『どうすればいいのかな?』

(わたなべしげお ぶん おおともやすお え 福音館書店)

『はけたよはけたよ』

(かんざわとしこ ぶん にしまきかやこ え 偕成社)

---

---

---